第17回広域系統整備委員会
計画評価及び検証小委員会　資料3-1

本資料には、個別工事費などの機微な情報が含まれているため、
一部情報については、マスキング処理をしております。

「中部関西間連系線に係る広域系統整備計画」における工事内容（工事費・工期）について

確認対象：北近江開閉所新設工事(土木建築工事)

2026年 10月 13日
広域系統整備委員会
計画評価及び検証小委員会事務局

目 次

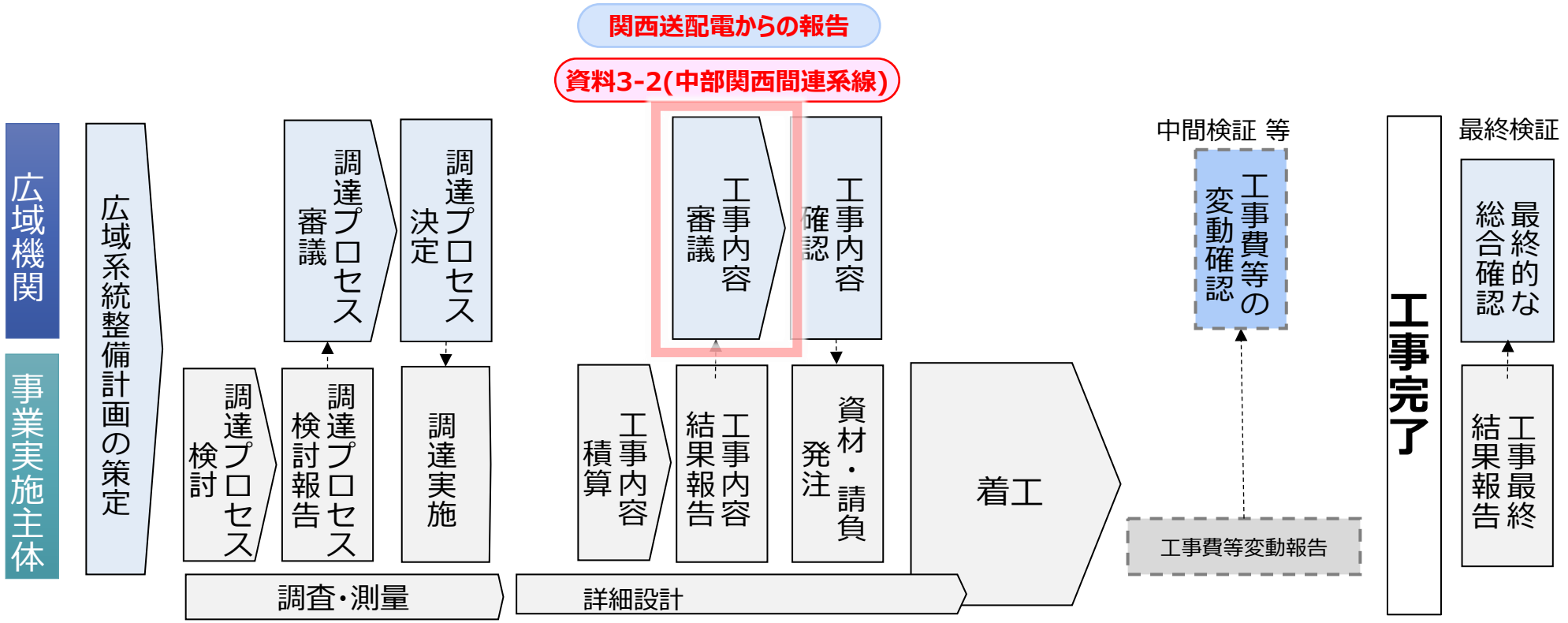
１．本日の検証小委の位置付け

２．関西送配電の「工事内容（工事費・工期）」についての検証の進め方

1．本日の検証小委の位置付け

- 検証小委フェーズ2では、工事件名毎に、調査・測量等により設計精度が高まった段階で、資材又は請負発注前までに詳細設計の内容について妥当性を確認している。
- 中部関西間連系線に係る広域系統整備計画において、事業実施主体である関西送配電から工事内容（工事費・工期）確認の実施依頼があった。（資料3-2）

検証小委　受審フロー（フェーズ2）



2．関西送配電の「工事内容（工事費・工期）」についての検証の進め方(1/2)

- 本日、関西送配電から主要工事について、工事内容（工事費・工期等）を説明いただく。「調達プロセス」の審議において確認した発注方式の実施状況や、コスト低減の取り組み状況等について、ご確認いただきたい。
- 本日の審議を踏まえ、関西送配電の工事内容についての妥当性・合理性の確認作業を事務局にて進め、次回以降の委員会において、事務局確認内容についてご審議いただく予定。

検証小委における確認事項

確認事項	対象の分類	確認項目	確認の観点	報告タイミング
調達プロセス	**1.発注方式**	• 発注方式選定の考え方 • コスト低減策の活用	①「主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方」との整合 ② 基本的な考え方に整合しない場合や、基本的な考え方で複数の調達方法を想定していた場合には、市場原理の確保、コスト低減への取組	• 広域系統整備計画の策定後、早期に実施
今回 工事内容	**2.工事費**	• 発注段階の要求仕様、評価方法、工事費 • 具体的なコスト低減施策	① 実施案や過去の工事実績の概算工事費 ② 工事費が増加する見通しの場合、増加要因・理由や対応策（現地調査・詳細設計・物価変動反映による影響） ③ 具体的なコスト低減施策 ④ 調達プロセスの進捗状況	• 調査・測量等により設計精度が高まった段階で、資材又は請負発注前まで
	3.工期	• 工期の見通し • 本計画の工事完了時期への影響 • 工期短縮への取組方策	① 本計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。遅延する見通しの場合、対応策 ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策 ③ プロジェクト管理体制（全体管理含む）	

（参考）関西送配電の「工事内容（工事費・工期）」についての検証の進め方(2/2)

■ 工事内容の確認にあたっては、「広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドライン」（26年4月15日策定、以下、ガイドライン）に沿って調査・測量結果や詳細設計等をふまえた工事内容を確認し、その合理性・妥当性を検証する。

【ガイドラインでの扱い】

＜工事内容の確認＞

工事内容については、工事件名毎に、調査・測量等により設計精度が高まった段階で、資材又は請負発注前までに詳細設計の内容について妥当性を確認する。あわせて詳細設計段階におけるコスト低減の取り組みについても確認する。

主要な工事・物品の例

土木工事、建築工事（バルブホール、制御棟など）など

変圧器、開閉器（遮断器、断路器、GIS など）、交直変換設備、調相機器、電線、ケーブル、鉄塔部材などの主機材

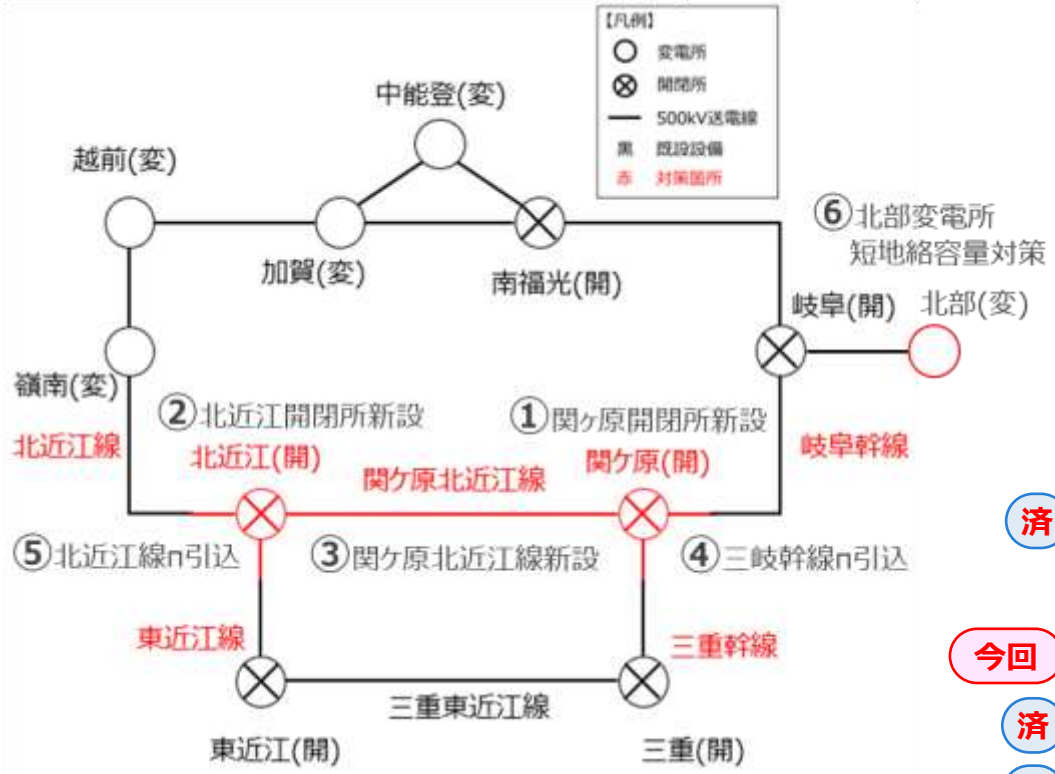
主要な物品の調達・工事発注状況（応札・応募状況、契約の相手方、契約金額等）について、上記で確認した計画からの変更の有無、妥当性を確認する。

【工事内容の検証において確認する項目】

- 調達の状況：予定価格の設定根拠、応札状況等が妥当な範囲にあるか。
- 設計・仕様：最適な工法・技術の採用、過剰スペックの回避など、設計・仕様の合理性。
- 工程管理：効率的な工程管理による工期遵守・短縮努力。

以上

（参考）中部関西間連系線に係る広域系統整備計画（工事概要）



◆**費用の概算額**　1,218億円
　工事費の概算額　590億円
　運転維持費の概算額　628億円

◆**工事完了予定時期**　2030年6月

◆**事業実施主体**　中部PG、関西送配電

	個別工事件名		事業実施主体
済	①	関ケ原開閉所新設（建築工事）	中部PG
		関ケ原開閉所新設（上記以外）	中部PG
今回	②	北近江開閉所新設（土木建築工事）	関西送配電
済		北近江開閉所新設（上記以外）	関西送配電
済	③	関ケ原北近江線新設	中部PG
済	④	三岐幹線n引込	中部PG
済	⑤	北近江線n引込	関西送配電
済	⑥	北部変電所短地絡容量対策	中部PG
	―	電磁誘導対策	中部PG・関西送配電
	―	給電システム改修	中部PG・関西送配電
	―	通信設備	中部PG・関西送配電

（参考）個別工事件名ごとの概算工事費（概算工事費・変動額・契約完了比率）

送電工事 **変電工事**

（単位：億円）

個別工事件名番号	個別工事件名	事業実施主体	整備計画2024年6月 概算工事費	事業実施主体による見通し 概算工事費（**2026年9月末時点**） 概算工事費	整備計画からの変動額（ ）内は増減率	主要設備・主要工事等の契約完了比率（ ）内は概算工事費額に対する主要設備・主要工事等の額が占める割合
①	500kV関ヶ原開閉所新設	中部PG				72%（84%）
②	500kV北近江開閉所新設	関西送配電				56.9%（81%）
③	500kV関ヶ原北近江線新設	中部PG				96%（75%）
④	500kV三岐幹線関ケ原開閉所n引込	中部PG				98%（80%）
⑤	500kV北近江線北近江開閉所n引込	関西送配電				0%(84%)
⑥	北部変電所短地絡容量対策	中部PG				43%（90%）
ー	電磁誘導対策	中部PG				100%(100%)
		関西送配電				0%(100%)
ー	給電システム改修	中部PG				0%(100%)
		関西送配電				0%(100%)
ー	通信設備	中部PG				12%（71%）
		関西送配電				0%（70%）
中部PG合計❶			333.2	263.2	▲70.0(▲20.0%)	69%（84%）
関西送配電合計❷			255.7	224.2	▲31.5(▲12.3%)	53.4%(81%)
全体合計（❶＋❷）			**588.9**	**487.4**	▲101.5(▲17.2%)	ー

※端数処理により合計値が合わない場合がある

調達プロセスにおける発注方式（関西送配電）

9

- 関西送配電では、中部関西間連系線における調達の基本方針を**競争発注**としている。
- 中部関西間連系線のうち、主要工事・主要設備における発注方式は以下のとおり。調達の基本方針に則り、透明性や公平性の確保等の観点から、基本的には一般競争を行うこととしている。
- ただし、変電工事のうち**GIS発注については、2010年に随意契約を採用**した上で、**メーカーに対して発注内示済み**であり、**随意契約のまま進めることで社内決定済み**とのことであった。

関西送配電における主要工事・主要設備の発注方式

項目	変電工事		送電工事		
	土木・電気工事	GIS	請負工事	鉄塔材	電線
中部関西間（関西送配電）	一般競争	**随意契約**	一般競争	一般競争	一般競争

今回の報告

（参考）関西送配電が一般競争を選択した理由

- より高い透明性、公平性が確保できる。
- 広く取引先を募集でき、最も競争効果が期待できる。

調達プロセスにおけるコスト低減策（関西送配電）

16

- 調達プロセスにおける主要工事・主要設備のコスト低減策については下表のとおり。
- 変電工事のGIS発注については、随意契約のため、総合評価方式は不採用である。
- それ以外の項目については、同じ中部関西間連系線の事業実施主体である中部PG及び現在整備中の東北東京間連系線の事業実施主体である東北NWが採用したコスト低減策と比べても、同程度のコスト低減策が検討されていることを確認した。

主要工事・主要設備のコスト低減策

			コスト低減策	中部関西（関西送配電）	中部関西（中部PG）	東北東京（東北NW）
変電工事	主要工事	土木・建築工事	VE方式 今回の報告	○	○	○
	主要設備	GIS	VE方式	○	○	○
			総合評価方式	—	○	○
送電工事	主要工事	請負工事	予報発注方式	○	○	○
			ターゲットプライス方式	○	○	○
			カフェテリア方式	—	○	○
			VE方式	○	○	○
	主要設備	鉄塔材・電線	予報発注方式	—	—	○
			ターゲットプライス方式	—	—	○
			一括発注（共同調達）	○	○	○
			カフェテリア方式	○	○	○
			VE方式	○	○	○